記者発表資料

平成２１年　３月２７日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第４回定例会議（３月１２日）の審議概要について

～抽出案件７件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２０年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第４回定例会議が３月１２日（木）、東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、平成２０年１０月１日～平成２０年１２月３１日までを対象とした事案（①工事、コンサルタント業務、役務の提供等・物品の製造等の総契約件数、②指名停止措置、③談合情報、④再入札における一位不動状況、⑤低入札状況）の報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件７件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先	
国土交通省　東北地方整備局 仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号	TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）
契　約　管　理　官	佐々木繁良（内線６２２１）
経理調達課課長補佐	高木義光（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所		平成２１年　３月１２日（木）東北地方整備局会議室	
委員		部会長　佐々木　公明（尚絅学院大学学長） 部会長代理　三輪　佳久　（弁護士） 委　員　真野　明　（東北大学大学院工学研究科教授）	
審議対象期間		平成２０年１０月　１日～平成２０年１２月３１日	
総抽出案件		総件数　７件	入札・契約手続きの方式
工事	抽出案件	件数　５件	（工事）
	一般競争（WTO対象）	０件	・一般競争(ＷＴＯ対象外)：工事規模が７億９千万円を超えない工事
	一般競争（WTO対象外）	５件	
	工事希望型競争	０件	
	通常指名競争（港湾土木）	０件	（建設コンサルタント業務等）
	通常指名競争（空港等土木）	０件	・簡易公募型プロポーザル方式
	通常指名競争（港湾・空等等土木以外）	０件	
	随意契約	０件	（役務提供等及び物品の製造等）
建設コンサルタント業務等		１件	・一般競争
役務の提供等及び物品の製造等		１件	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし

抽　出　案　件　工　事　概　要　書

	工　事　名	入札・契約方式	工事（施工）場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
1	青森港油川地区防波堤(第一)(北)基礎工事（その２）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	青森市　青森港内	247,800 １回目落札	6者	6者
2	青森港油川地区防波堤(第一)(北)基礎工事（その３）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	青森市　青森港内	120,750 １回目落札	1者	1者
3	秋田港外港地区泊地(-3m)(消波)築造工事　（その３）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	秋田市　土崎港地内	153,300 １回目落札	8者	7者
4	小名浜港東港地区防波堤(第二沖)被覆工事(その３)	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	いわき市　小名浜渚地内	37,800 １回目落札	2者	2者
5	仙台空港Ｂ誘導路改良工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	名取市下増田南原仙台空港内	114,450 １回目落札	11者	11者

抽出案件建設コンサルタント等概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
6	大船渡港外国有港湾施設維持管理計画策定業務	随意契約 簡易公募プロポーザル方式	－	2,888 １回目落札	8者	1者

抽　出　案　件　役　務　及　び　物　品　概　要　書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
7	八戸港むつ小川原副排水ポンプ修理工事	一般競争	青森県六ヶ所村むつ小川原港ケーソンヤード内	16,800 １回目落札	1者	1者

別　紙

NO.１

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし	
1-3	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし	
2-1 -2	審　　議 一般競争 「青森港油川地区防波堤(第一北)基礎工事(その２)」 「青森港油川地区防波堤(第一北)基礎工事(その３)」 ・工事を別件として発注した理由は？ ・事務所発注工事については、競争性を高めるための工夫を行って欲しい。	・防波堤の断面決定が８月となり、契約手続と工程・安全面を考慮のうえ、年度内完成を目指した結果、２件の工事としたものです。 ・了解しました。
2-3	審　　議 一般競争 「秋田港外港地区泊地(-13m)(消波)築造工事(その３)」 ・入札無効が３社あるがどうしてか。 ・調査基準価格を下回った２者の加算点が、だいぶ低いがどうしてか。	・この３社については、調査基準価格を下回った入札であったため、施工体制確認のための追加資料の提出を要請したところ、期限までに追加資料の提出がありませんでした。　そのため、入札を無効としました。 ・施工体制確認のためのヒアリングにおいて、１者は全工種を自社で施工するとの回答に終始、また、もう１者は捨石の施工数量が過小に計上されていました。　このことから、両者の施工体制が十分でないと判断したため、施工体制点と技術加算点が低くなったものです。
2-4	審　　議 一般競争 「小名浜港東港地区防波堤(第二沖)被覆工事（その３）」 ・地元業者を対象とした工事にもかかわらず、入札参加業者が少ないが、どうしてか。	・技術者の確保が困難なことから、業者の方では同時期に入札・公告が行われる工事については、どれを優先するかを決めるなどして、参加する工事を選別する傾向が強まっているためかと思われます。
2-5	審　　議 一般競争 「仙台空港Ｂ誘導路改良工事」 ・特になし	

	意見・質問	回　　答
2-6	審　　議 随意契約（簡易公募型プロポーザル方式） 「大船渡港外国有港湾施設維持管理計画策定業務」 ・技術提案の評価表は、なぜ受注者以外の業者名が匿名となっているのか	・プロポーザル方式は、随意契約の一部とされております。そのため、随意契約の手続としては、業者を特定した後からとなります。 また、契約手続の公表にかかる通達では、業者選定の過程についても、公表を行うこととされていますが、技術提案の評価表については、特定されなかった提出者は匿名とすることとされております。
2-7	審　　議 一般競争方式 「八戸港むつ小川原副排水ポンプ修理工事」 ・本業務については、下位等級業者の参加を認めているが、業務等級に応じた業者の参加が少ないのであれば、上位等級業者の参加も認めるべきではないのか。	・本業務をこれまで問題なく実施してきた業者の等級が下位であったことから、参加を認めたものです。 ご意見に基づき、今後は本業務の参加資格及び等級について検討を行うこととします。